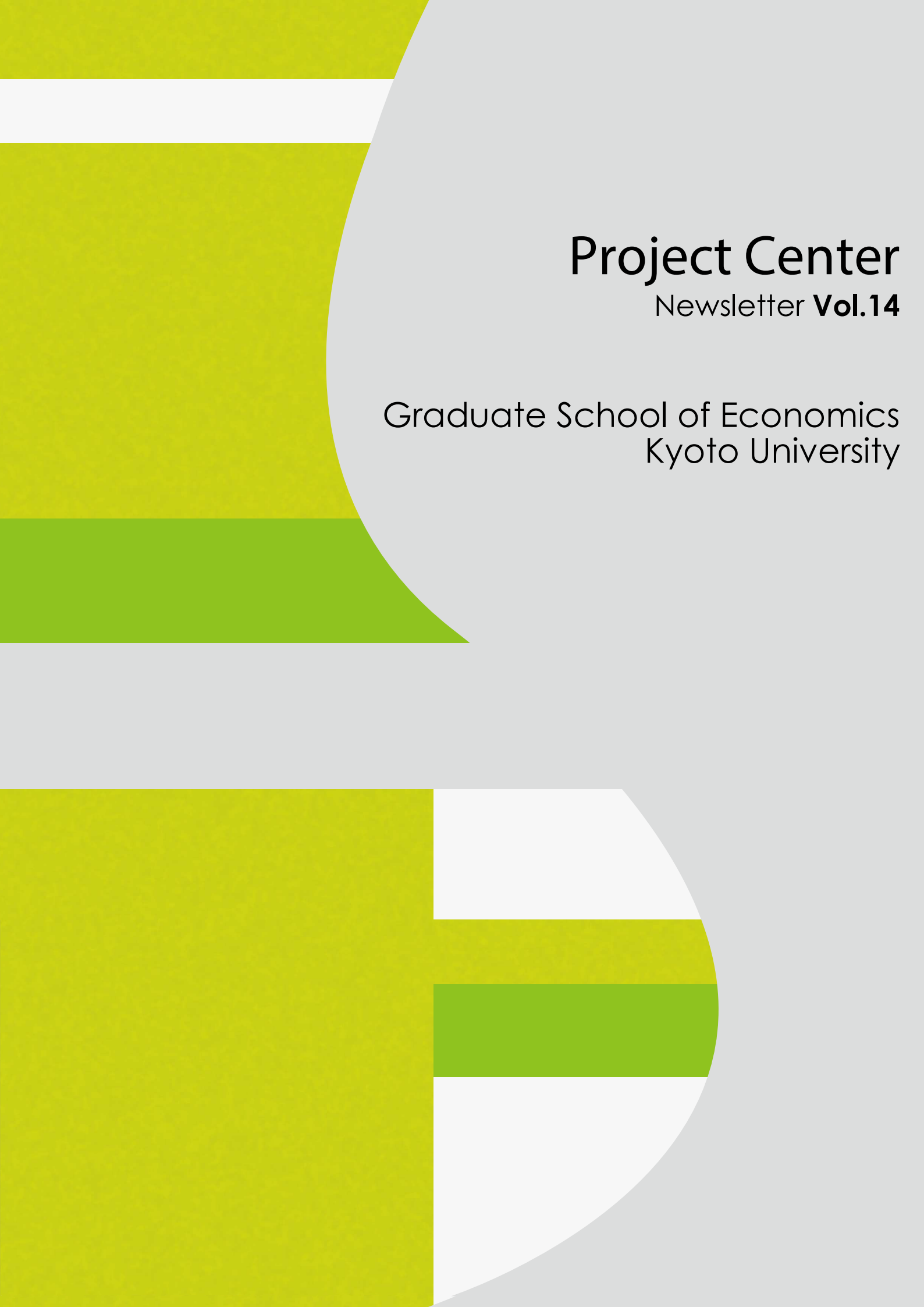




Project Center

Newsletter **Vol.14**

Graduate School of Economics
Kyoto University

Contents

目次

*プロジェクトセンター

p03 - Foreword ご挨拶

p04 - Projects プロジェクト一覧

理論・実証を統合する数理ファイナンス研究教育拠点形成

スマート・グリッド・エコノミクス

企業間関係と境界のマネジメントの計量的・質的分析手法の研究

経済動学研究プロジェクト「新しい経済動学の研究と教育の拠点形成」

国際貿易に関する理論・実証研究の拠点形成と大学院教育の高度化

マクロ経済学に関する理論・実証研究の研究教育拠点

学生相談プロジェクト

*企画戦略室・研究推進室

p15 - Seminar series 2023年度 公認セミナー開催一覧

p20 - KAKENHI Adopter list 令和6年度 科研費採択者一覧

p21 - KAKENHI Adoption status 令和6年度 科研費採択状況

p23 - Web of Science 経済学研究科書誌データ（2023年度）

p26 - Discussion Papers ディスカッション・ペーパー発行状況
(2023年度)

プロジェクトセンター

Foreword

ご挨拶

京都大学大学院経済学研究科附属プロジェクトセンターは、(1)現代産業社会活性化のためのプロジェクト型研究を組織し、(2)教育技法・教材の開発、産業社会の分析などを行うことにより、広く経済学・経営学の教育研究の向上に寄与することを目的として、平成12年11月に設立されました。プロジェクトセンターは、専任および兼任の教員から構成され、その運営は「プロジェクトセンター運営協議会」が行っております。

プロジェクトセンターでは、上記(1)の目的を達成するため、「大学院教育研究高度化プロジェクト」を募集し、プロジェクトセンター運営協議会で審査の上、平成22年度に5件、平成25年度に1件、平成26年度に1件のプロジェクトを採択し現在に至っています。また、上記(2)の目的を達成するため、任期付きの若手研究者の積極的登用などを進め、現在8名の専任教員が採用されております。

学外との交流に関しては、各プロジェクトと関連のある研究者をリサーチ・フェローとしてセンターのメンバーに加えるとともに、先端的研究を行っている講師を招聘して各種セミナー等を開催し、プロジェクトの発展と普及につとめています。これらプロジェクトセンターの成果の一部は、経済学研究科の「ディスカッションペーパーシリーズ」として公表されています。

このように、プロジェクトセンターでは、産官学連携活動を視野に入れたプロジェクト型研究の強化に努めてまいりましたが、本研究科の従来型の人事採用制度にとられない弾力的な若手研究者の積極的採用にも大きな貢献を果たしてきました。平成23年度には、戦略定員枠で初めてのマネジメント・プロフェッサー教員を採用するとともに、すでに事実上先行して開始されているテニユア・トラック制を、平成24年度からは本研究科の新しい人事採用制度として活用しています。

今後とも、学内外の皆様方のご協力をお願い申し上げます。

京都大学大学院経済学研究科附属プロジェクトセンター長

若井 克俊

Projects

プロジェクト一覧

理論・実証を統合する
数理ファイナンス研究教育拠点形成

プロジェクトリーダー 江上 雅彦

スマート・グリッド・エコノミクス

プロジェクトリーダー 依田 高典

企業間関係と境界のマネジメントの
計量的・質的分析手法の研究

プロジェクトリーダー 若林 直樹

経済動学研究プロジェクト
「新しい経済動学の研究と教育の拠点形成」

プロジェクトリーダー 佐々木 啓明

国際貿易に関する理論・実証研究の
拠点形成と大学院教育の高度化

プロジェクトリーダー 神事 直人

マクロ経済学に関する
理論・実証研究の研究教育拠点

プロジェクトリーダー 遊喜 一洋

学生相談プロジェクト

プロジェクトリーダー 北田 雅

理論・実証を統合する数理ファイナンス研究教育拠点形成

プロジェクトリーダー 江上 雅彦 理事・副学長（前 経済学研究科 教授）

プロジェクト研究概要

ファイナンス工学、行動ファイナンスは数理的アプローチにより目覚ましい進歩を遂げている。一方で様々な領域（ミクロ・マクロ経済学、制御理論、ゲーム理論等）との積極的な交流を通じて、常に新しい問題意識を持ち、問題解法を可能にする数理的手法の習得なくしては先端的研究を推進することは難しくなっていることも事実である。そこで本プロジェクトでは、各々の分野の専門家との意見交換、共同研究を積極的に行うことをサポートし、本研究科における研究推進を目的とする。また数理ファイナンスは、例えば派生証券の価格付け・投資家の市場行動を分析対象とすることに鑑み、実証研究を同時に進行させ、理論・実証を統合する形で研究教育拠点の確立を目指したい。

研究方法

1. 先端的な研究者、実務家、政策当局者等を招き、定期・不定期のセミナーを実施する事で交流拠点を形成、問題意識を共有し、多方面から問題解決を図る。この関連で21年度後期に経営管理大学院の協力のもと、「金融工学GPセミナー」を既に実施している。（内外の研究者を8名招聘）
2. 実証研究をすすめるために金融機関からリサーチフェロー・博士後期課程編入を受け入れ、共同研究および研究指導をおこなうことで実務家のニーズを把握する。またマーケットデータベースの構築を図り、在学中の本学大学院生に対しても幅広く研究課題をオファーしていきたいと考える。
3. 教育面に関しては数理的な要素が強い分野であるため、講義等によって、バックグラウンドの異なる学生（学部・大学院生）に対し様な成果を達成することは容易ではない。ひとつの方策として、レクチャーノートを可能な限り標準化（準備が不十分な学生に対しては補助教材を整備）し、講義の難易度レベルおよびクオリティを一定に維持したいと考えている。

プロジェクトメンバー

部局内研究協力者

若井 克俊(京都大学教授)

Rusudan Kevkhishvili(京都大学講師)

リサーチフェロー

重田 雄樹(東京経済大学准教授)

学内研究協力者

原 千秋(京都大学教授)

学外研究協力者

関根 順(大阪大学教授)

敦賀 貴之(大阪大学教授)

スマート・グリッド・エコノミクス

プロジェクトリーダー 依田 高典（経済学研究科 教授）

プロジェクト研究概要

本プロジェクトでは、フィールド実験のランダムイズド・エクスペリメント手法を用いて、電力消費に関する個票データに基づいて、ピークカット・ピークシフトのトリートメント効果評価を行い、それら経済効果の日米国際比較を通じて、日本のスマートグリッドの経済効果の測定を行う。

研究方法

本研究の基礎となるフィールド実験のランダムイズド・エクスペリメント (Randomized Experiment, RE) 手法の学問的背景について説明する。米国エネルギー省では、連邦予算に基づくスマートグリッド社会実験のガイドラインを策定し、経済効果を正しく測定するために、産官学のテクニカル・アドバイザリー・ボードを立ち上げ、RE社会実験を推奨している。RE社会実験は既に開発経済学や労働経済学の分野ではセルフセレクトション・バイアスを排除して真のトリートメント効果を得るための必須なツールとして定着しているが、今後、大規模な産業政策へも適用が求められていくと予想される。

期待される成果

研究のカバーする範囲は、経済産業省が現在、推進しているスマートグリッド国内実証プロジェクトの個票データを用いて、①時間帯別料金・ピーク料金・オフピーク料金などのダイナミックプライシング、②電力消費の見える化など、情報提供を主要としたトリートメント効果である。また、どれだけの①総電力消費量削減、②電力消費デマンドピークカット、③電力消費デマンドピークシフトがあったかを定量的に測定する。こうした経済効果をもとに、電力不足が懸念される日本経済においてどのような料金体系を作れば良いのか、有用な需要弾力性情報が得られる。小売り全面自由化や発送電分離など、将来の電力産業の規制改革において、スマートグリッドを活用したデマンド・レスポンスの経済効果は事業者・政府の双方にとって貴重な参考資料として活用される。

Projects

プロジェクト活動

環境省ナッジ事業

2019年度、依田 高典 京都大学教授（事業代表者）、伊藤 公一朗 シカゴ大学准教授（海外アドバイザー）、北川 透 ブラウン大学経済学部 教授（海外アドバイザー）の研究グループは、環境省の委託事業として、boost technologies 株式会社やロバスト・ジャパン（株）と協働して、世帯の節電・省エネのフィールド実験に取り組んでいます。2019年度冬期には、来年度以降の実証事業の大規模な展開を見据え、7日間の「無理せず楽しく節電!DAY」プロジェクトを企画・運営し、協力小売電気事業者の需要家約700世帯を対象に、報酬（リベート）の提供が節電行動に与える効果を検証するための実証実験を行いました。

プロジェクトメンバー

リサーチフェロー

伊藤 公一朗

（シカゴ大学公共政策大学院ハリススクール Professor）

牛房 義明（北九州市立大学教授）

学外研究協力者

田中 誠（政策研究大学院大学教授）

後藤 励（慶應義塾大学教授）

王 文傑（南洋理工大学助教）

村上 佳世（関西学院大学経済学部准教授）

企業間関係と境界のマネジメントの計量的・質的分析手法の研究

プロジェクトリーダー 若林 直樹（経済学研究科 教授）

プロジェクト研究概要

本プロジェクトは、企業間システムにおけるイノベーションについて企業経済学、経営学、会計学において共通の学際的な課題である企業間関係における「境界のマネジメント」という視点から、そのメカニズムを分析・解明しようとするものです。企業が「境界をどのように設定し、境界内と境界外で要素間の相互作用をどのように制御するのか」は日常の精算分業だけではなく、社会的なイノベーションから見ても興味深い分析です。2009－11年度までは、生産活動とその革新の成否を大きく左右する要因となる。自動車、バイオテクノロジー、サービスの三つの産業を主たる題材として実証分析を行なってきました。

今年は、企業間関係と企業境界の経営学的な理論研究をベースにしながら、関西バイオクラスターの持つ地域の組織間ネットワークと研究開発能力の特性について分析を行っています。関西地方は、バイオテクノロジーの研究開発の面に於いては、本学や大阪大学、理研をはじめとした世界最先端の研究機関だけではなく、製薬、生化学、食品産業などの産業が集積しています。「関西バイオクラスター」は、そうした面で、日本有数のバイオテクノロジーのクラスターであり、研究開発だけではなく、産業集積の面でもトップクラスです。関西バイオクラスターを事例にしながら、日本のバイオクラスターが持つ地域的な研究開発能力（Regional Capabilities）について、産官学の研究開発ネットワークの構造的な進化とそこにおける知識移転のメカニズム、そしてその事業化を支える産業のネットワークについての研究を行っております。

2000年代に於いて、欧州だけではなく、米国の一部でも、いわゆる「シリコンバレー複製政策」という産業クラスター政策のあり方が、それぞれの経済の事情いわゆる制度的文脈を無視して進められたために、限界が指摘されつつあります。日本においても、ハイテク起業については、研究者の少ないスピンオフ、低い起業意欲、系列的な取引の比重の高さ、世界的に展開しつつある新規の研究開発分野への参入の低さなどの様々な経済制度上の特徴が指摘されつつあります。こうした制度的な違いを意識しつつ、バイオクラスターにおける産官学の組織間ネットワークのあり方、その協働の経済的なメカニズム、そしてその成果について国際比較の観点から研究しております。

研究方法

1. 年数回の研究会先端的な研究者、実務家、政策当局者等を招き、定期・不定期のセミナーを実施する事で交流拠点を形成、問題意識を共有し、研究活動の成果を発信しています。
2. 国際的な調査による比較研究米国サンディエゴ、リサーチ・トライアングル、ウィンスコンシン州マジソン、英国ケンブリッジ、スコットランド、ベルギー、ドイツのミュンヘン、フランス・ストラスブール、台湾の台南リサーチパークなどの訪問調査を行いつつ、関西バイオクラスターの持つ産官学の組織間ネットワークの特徴について国際比較しております。
3. 国際的な研究ワークショップ、研究学会への参加欧州組織学会、アジア経営学会などの各種学会や、ワシントンのUSIJセミナー、ストラスブール大学経済研究所（BETA）での国際セミナー、ICEMS（京都大学幹細胞研究拠点）での国際ワークショップに参加しながら、国際的なバイオテクノロジーの研究者との研究交流を進めています。なお、一部成果は、日本経済新聞、読売新聞などの紙面や、先端医療振興財団、四国経済連合会などの一般セミナーでも発表しております。
4. 東京工業大学の仙石先生と密接な協力関係を持ちながら、バイオテクノロジーの先端的研究拠点の活動について研究を進めています。
5. 「企業境界」に関する企業理論研究者との協力企業境界に関わる理論研究者との協力を持ちながら、理論的な面からの考察を行っています。

協力する科研費プロジェクト

次の科研費プロジェクトに関係しながら進めております。

1. 「関西バイオクラスターにおける研究開発ネットワークの構造進化と事業化能力の国際比較」（文科省科研費基盤（B）／研究代表者：若林直樹／2010-2012年／課題番号22330114）
2. 「日本型企业間分業の変容と日本企業の競争力」（文科省科研費基盤（A）／武石彰 京都大学経済学研究科教授代表／2012-2014年／課題番号24243046）
3. 「バイオテック企業の経営状況及び経営環境の網羅的調査と地域・分野間比較」（文科省科研費基盤（B）／仙石慎太郎東京工業大学准教授代表／2014-16年／プロジェクト番号26301022）

プロジェクトメンバー

部局内研究協力者

依田 高典(京都大学教授)

学外研究協力者

仙石 慎太郎(東京工業大学教授)

中本 龍市(九州大学准教授)

山田 仁一郎(京都大学経営管理大学院教授)

稲垣 京輔(法政大学教授)

経済動学研究プロジェクト

「新しい経済動学の研究と教育の拠点形成」

プロジェクトリーダー 佐々木 啓明（経済学研究科 教授）

プロジェクト研究概要

経済学が始まって以来、「経済成長や景気循環の分析」は、経済学の最重要テーマであり、理論経済学の核心的研究である。経済理論は、現実の経済社会の要素をモデル化し、その本質を捉えることを目的としている。本プロジェクトは、新古典派や非新古典派といった学派の枠を超え、多様な学派の経済理論の存在を前提として、経済理論および現実の経済社会を重視し、「経済社会の本質を解明すること」を目指し、「現実の経済現象を的確に捉えた経済動学理論のモデル構築」に挑む。

プロジェクト・メンバーと学外研究協力者との共同研究を通じて、「新しい経済動学理論の構築と発展」を目指し、研究拠点の形成を図る。さらに、大学院生に対して、当該分野の研究に必要な分析手法の教育を行う。その一環として、国内外の研究者が参加するセミナー・研究会を開催し、最新の研究成果に触れる機会を提供する。また、大学院生が研究報告を行う機会を提供する。

プロジェクトメンバー

リサーチフェロー

小川 翔吾（横浜国立大学准教授）

岡原 直人（福井県立大学 助教）

学外研究協力者

大野 隆（同志社大学教授）

黒瀬 一弘（東北大学教授）

藺田 竜之介（佐賀大学准教授）

吉田 博之（日本大学教授）

国際貿易に関する理論・実証研究の 拠点形成と大学院教育の高度化

プロジェクトリーダー 神事 直人（経済学研究科 教授）

プロジェクト研究概要

我が国は伝統的に国際貿易論の分野において優れた研究者を輩出してきており、現在でも世界的に見てこの分野の研究が最も活発に行われている国の一つである。このことは、我が国がエネルギー等の天然資源の多くを輸入に頼るとともに、輸出が国内経済の牽引役となっているなど、国際貿易が我が国経済において重要な役割を果たしていることと密接に関係していると考えられる。

これに対して、本研究科は国際貿易論の分野で国際的に活躍できる人材を恒常的に育成できる機関となるポテンシャルを有しており、実際にそうした機関となる意義は大きいと考えられる。そのためには、当該分野で最先端の研究を行うとともに、大学院教育のあり方を改善していくことが求められる。

そこで、本プロジェクトは、理論研究と実証研究の両面から国際貿易論の最先端の研究を行うとともに、大学院生やPDらの若手研究者が国際的に活躍できる力を養うための教育プログラムの開発を行っていくことを目的とする。

プロジェクトメンバー

部局内研究協力者

川口 薫喜（京都大学博士後期課程）

リサーチフェロー

鎌田 伊佐生（新潟県立大学教授）

田中 鮎夢（青山学院大学准教授）

阪本 浩章（神戸大学准教授）

マクロ経済学に関する理論・実証研究の研究教育拠点

プロジェクトリーダー 遊喜 一洋（経済学研究科 准教授）

プロジェクト研究概要

本プロジェクトは、現代のマクロ経済学の急速な進歩にキャッチアップし、社会・学界に貢献する研究成果を目指しています。また、研究者や実務家との間との交流、意見交換、問題意識の共有を通じて、理論・実証研究の両面から本研究科のマクロ経済学の研究推進拠点を形成することも本プロジェクトの目的です。

研究概要

本プロジェクトは、マクロ経済学における応用分野（財政・金融政策、経済成長、経済危機等）の領域について、政策的インプリケーションを提示することを目的にプロジェクトを遂行しています。とりわけ、ミクロ・マクロ両面からのデータの理解を基礎として、観察されるマクロ経済データのパターンを解明する理論モデルの構築等に重点を置きながら、研究に取り組んでいます。また、絶えず変化にさらされているマクロ経済を様々な観点から把握するため、国内外の研究者との交流、意見交換、問題意識の共有に積極的に取り組んでいます。具体的には、定期的に「応用マクロ経済学セミナー」を開催し、本学の研究者・大学院生、ポスドクターだけでなく、学外の研究者にも広く参加を呼びかけています。このような研究活動を通じて、本プロジェクトはマクロ経済学の研究・教育拠点形成に努めています。

プロジェクトメンバー

部局内研究協力者

西山 慎一（京都大学教授）

学外研究協力者

敦賀 貴之（大阪大学教授）

学生相談プロジェクト

プロジェクトリーダー 北田 雅（経済学研究科 講師）

プロジェクト概要

文部科学省が昨年発表した平成27年度学校基本調査では、学部卒業者の就業年数別卒業状況のうち、所定の修業年数4年で卒業したものは、79.9%にあたる。すなわち、大学生5名に1人は、留年をしている状況にある。大学卒業者の就職率は現在70%前後であり、いわゆる就職浪人や資格取得等の特定の目的のため留年する者も存在すると考えられる反面、学習意欲の低下や学習能力の欠如等による留年者も多数いると考えられる。

これまで、本学経済学部では自学自習の精神より、長期欠席者や留年者、単位不足者の動向はほとんど感知しておらず、平成26年度の本学経済学部における留年者比率（留年者数 / 学生数）は、0.094であり、本学10学部のうち上位5番目となっている。今回、上記提言に沿う形で、留年率の低減策について検討を行うこととなり、その過程で留年する可能性のある学生を早期に検出する方法を確立することを目的とする。

研究方法

アンケートを行う。経済学部学部生が、全員受講することとなっている「入門演習」において、「学生実態調査」を記述式によって実施し、「学生生活実態調査」回答項目と単位取得率において、何らかの関連性がないか分析する。

期待される成果

未然もしくは早期に、長期欠席者や留年する可能性のある学生を検出する方法の確立

プロジェクトメンバー

部局内研究協力者

依田 高典（京都大学教授）

学外研究協力者

奥井 亮（東京大学教授）

リサーチフェロー

部局内研究協力者

井上 恵美子（京都大学大学院地球環境学堂特定研究員）
（日本学術振興会特別研究員RPD）

企画戦略室・研究推進室

Seminar series

2023年度 経済学研究科公認セミナー開催一覧（セミナー名五十音順）

アジア経済発展論研究会セミナー				セミナー計 84
日付	講師（敬称略）	所属・職位	演題	参加人数(人)
4/26	Sultan Mehmood	New Economic School	"Contract Enforcement in a Stateless Economy (with Daniel L. Chen)"	16
5/25	櫻井 武司	東京大学大学院農学生命科学研究科・教授	「Improving Infant Nutrition through the Market: Experimental Evidence from Ghana」	21
5/25	John Gibson	Professor, University of Waikato; 一橋大学・客員教授	"Measurement errors in popular DMSP night-time lights data lead to understated estimates of spatial inequality and attenuated treatment effects in empirical political economy"	*
7/7	Teresa Molina	Associate Professor, University of Hawaii at Manoa	"Mental Health and COVID-19 Cash Transfers in the Philippines: The Importance of Existing Social ProtectionPrograms (with Yoonyoung Cho)"	4
7/10	Anthony P. D'Costa	Eminent Scholar in Global Studies and Professor of Economics College of Business, The University of Alabama in Huntsville	Compressed Capitalism and the Persistence of Informal Labor Markets in India	5
7/20	Paul Schuler	Associate Professor, School of Government and Public Policy, the University of Arizona	"Pillars of the Community: A Field Experiment on Party Member Incentives for Community Activism in Vietnam"	12
9/8	阪本 拓人	東京大学大学院総合文化研究科・教授	「大規模テキスト分析をいかに生かすか：国際関係・紛争研究への適用を中心に」	14
10/13	Steen Thomsen	Center for Corporate Governance, Copenhagen Business School	Comparative Corporate Governance: Japan, Southeast Asia and the Nordics	6
12/19	能勢 学	国際通貨基金・研究員	From Battlefield to Marketplace: Connectivity, Industrialization, and Spatial Convergence in the GreaterMekong Subregion	6
応用ミクロ経済学セミナー				セミナー計 142
4/7	Sunny Huang	Assistant Professor, 香港科技大学	"Price Signaling and Reputation Building: Evidence from a Service Platform"	6
4/20	Randall Morck	Stephen A. Jarislowsky Distinguished Chair in Finance and Distinguished University Professor, University of Alberta	"Personal Bankruptcy Law and Innovation around the World"	14
5/25	Raymond Gradus	Professor, Vrije Universiteit Amsterdam	"Postcollection Separation of Plastic Waste and Design-For-Recycling as Solutions to Low Cost-Effectiveness and Plastic Debris"	18
	Daisuke Ichinose	Associate Professor, Rikkyo University	"Considering the Trade-off of Policy for Circular Economy: Evidence from Plastic Recycling in Japan"	
	Yuichi Ishimura	Associate Professor, Kindai University	"Postcollection Separation of Plastic Waste and Design-For-Recycling as Solutions to Low Cost-Effectiveness and Plastic Debris"	
6/23	中村 良太	一橋大学・教授	"Restricting choice of cigarettes reduces smoking"	6
7/7	吉田 雅裕	早稲田大学・准教授	"Climate Change and Labor Market Dropouts: Evidence from the Half Century"	6
7/14	菊池 雄太	大阪大学・特任助教	"An Alternative Bounds Approach for Markup Estimation: Examining the Japanese Cotton Spinning Industry"	8
9/5	善如 悠介	神戸大学・教授	Should Platforms be Held Liable for Defective Third-Party Goods?	11
10/5	Nocke, Volker	Professor, University of Mannheim	"Merger Analysis with IIA Demand and Type Aggregation"	14
10/20	Astrid Dannenberg	Professor, University of Kassel	"The effects of information, observability, and social norms on food choice"	20
	Thilo K. G. Haverkamp	Graduate Student, University of Kassel	"Is targeted information helpful for the individual support of environmentally friendly food and agricultural policies?"	
	Tom Schütte	Graduate Student, University of Kassel	"How to get photovoltaics on every roof? Findings from a regional case study on the public support of residential solar mandates in Germany"	
	Daniel Engler	Graduate Student, University of Kassel	"Cultural values in Japan and sustainable investment behavior"	
	Yohei Mitani	Associate Professor, Kyoto University	"Value of statistical life in the pandemic context: Age, health, and economic preferences"	
	Yimeng Du	Senior Lecturer, Kyoto University	"The impact of intraday market trading on balancing needs: Empirical evidence from the JEPX market"	
11/9	Martin Peitz	Professor, University of Mannheim	"Ad Blocking, Whitelisting, and Advertiser Competition"	18
1/12	菊池 信之介	マサチューセッツ工科大学・博士課程	"Automation and Comparative Advantage"	11
3/15	山田 憲	京都大学・教授	"Firm Innovation, Employment, and Productivity (with Hiroya Taniguchi)"	10

Seminar series

2023年度 経済学研究科公認セミナー開催一覧（セミナー名五十音順）

会計学セミナー

セミナー計 173

日付	講師（敬称略）	所属・職位	演題	参加人数(人)
7/1	横川 久	横浜市立大学国際マネジメント研究科 後期博士課程2年	「ERPシステムが情報の非対称性と分権化の関係に与える影響」	26
10/14	庄司 豊	琉球大学 国際地域創造学部 講師	「マネジメントコントロールと組織アンラーニング」	25
11/19	Szu-fan Chen	Assistant Professor, National Taiwan University	"The Information Role of Employee Confidential Witnesses in Financial Misreporting Litigation"	35
	Sheng-Feng (Philip) Hsieh	Assistant Professor, National Taiwan University	"Sentiment Analysis of R&D-related Disclosures in 10-K Filings: Effects on Earnings and R&D Persistence"	
12/9	浅田 拓史	大阪経済大学 情報社会学部 情報社会学科・教授	「臨床会計学批判」	30
2/3	大日方 隆	東京大学大学院経済学研究科・教授	「会計制度の経路依存性」	16
	松本 敏史	早稲田大学商学学術院会計研究科・教授	「会計観の対立と混合会計」	
2/20	Christopher Akroyd	Professor, Department of Accounting and Information Systems, University of Canterbury	"Improvisation and the temporal structures of performance measurement in a dynamic environment"	17
3/13	David Derichs	Senior University Lecturer at Aalto University	"How non-managerial employees navigate tensions: Insights from an 'agile' bank"	12
3/16	Berend van der Kolk	Associate Professor of Management Accounting & Control , School of Business & Economics, Vrije Universiteit Amsterdam	The Impact of Management Control on Organizational Characteristics	12

経営学セミナー

セミナー計 414

4/5	Daniel Semper	WU Vienna University of Economics and Business	"Center-periphery field dynamics: How Australian winemaking redefined its marginal position"	7
4/11	Robin Burrow	Senior Lecturer, Cardiff Business School	"When work is everything: Coping with institutionalized perfectionism"	8
4/14	Marc Gruber	Professor, Ecole Polytechnique Fédérale de Lausanne (EPFL), Switzerland Editor-in-Chief, Academy of Management Journal	"From Research to Practice by Designing a Business tool - the Case of the Market Opportunity Navigator"	16
4/19	Davide Ravasi	Professor of Strategy and Entrepreneurship; Director, UCL School of Management	"Theorizing from Qualitative Data: Claiming a Theoretical Contribution"	29
4/20	Randall Morck	Stephen A. Jarislowsky Distinguished Chair in Finance and Distinguished University Professor, University of Alberta	"Personal Bankruptcy Law and Innovation around the World"	14
5/15	Gloria Kutscher	Lecturer, Southampton Business School	"Relational boundary management in confined work settings"	12
	Derin Ken	Assistant professor, Warwick Business School		
6/29	Alexander Dyck	Professor, Joseph L. Rotman School of Management	"ESG, Institutional Investors and Corporate Governance"	39
	Ishtiaq Pasha Mahmood	Professor, Department of Strategy & Policy; National University of Singapore	"Long-term Drain vs. Short-term Gain: Gender, Corruption and Firm-level Strategic Trade-offs in an Emerging Economy"	
6/30	小田部 正明	早稲田大学 商学学術院 商学部・教授 ; Professor, University of Hawaii at Manoa The Shidler College of Business	"APPLE – The Great Innovator of iPod, iPhone, and iPad – was “Low-Tech”: In Search of a New Theory"	60
10/5	Martin Hemmert	Professor of International Business, Korea University	"The entrepreneurial orientation-performance relationship among new technology-based firms: Evidence from East Asia"	30
10/12	Miikka J. Lehtonen	立教大学・特任准教授	"Playful Coopetition: Three forms of play-derived organizing for innovations"	13
10/24	Walid Saffar	Professor, Hong Kong Polytechnic University	"Spillover Effect of Private Firm Disclosures on Public Firms' Loan Spreads"	6
10/26	Rene Wiedner	Associate Professor, Warwick Business School	"Custodianship across generations: Preserving declining practices"	24

Seminar series

2023年度 経済学研究科公認セミナー開催一覧（セミナー名五十音順）

経営学セミナー（続き）

日付	講師（敬称略）	所属・職位	演題	参加 人数(人)
11/2	Banş Tan	Professor, Koç University	"Creating Value and Achieving Sustainability with Smart Manufacturing: Data-driven Control and Business Models"	30
11/28	Sea-Jin Chang	Lim Kim San Chair Professor of Business Administration, National University of Singapore	"Inter-divisional transfer versus external recruitment of executives in multidivisional firms:"	34
12/18	Jie Cao	Professor, Hong Kong Polytechnic University	"Do Insurers Listen to Earnings Conference Calls? Evidence from the Corporate Bond Market"	3
1/22	Nada Endrissat	Bern University of Applied Sciences, Switzerland	"Moving with the Trouble: The role of vulnerability and critical hope in entrepreneurial processes"	19
1/24	Point Sebastien	Full Professor, Strasbourg University	"Antagonism, Neologism, and Tautology around Diversity andInclusiveness in Organizations"	50
3/22	Helene Tenzer	Professor for International Management at LMU Munich School of Management	"Multilingual team communication: Reviewing the status quo and discussing the transformative effects of AI tools"	20

国際経済学セミナー セミナー計 131

5/25	加藤 隼人	大阪大学大学院経済学研究科・准教授	"A global minimum tax for large firms only: Implications for tax competition"	17
7/6	直井 恵	Associate Professor, University of California, San Diego	"How Political Tensions Fuel Cross-border Investment: American Consumer Hostility and Mergers andAcquisitions by Chinese and Japanese Firms"	23
10/5	蓬田 守弘	上智大学・教授	"Technology Transfer, Emissions Trading, and International Trade"	20
10/26	山ノ内 健太	香川大学・准教授	"Effects of Product-Specific Rules of Origin on Trade in Free Trade Agreements: Evidence from the Case of Japan"	17
11/2	丸山 佐和子	近畿大学・教授	"Estimation of task content of trade"	13
12/7	伊藤 恵子	千葉大学・教授	"The Changing Structure of Global Value Chains and Technological Change: Evidence from the Firm-Level Patent Data"	16
1/18	新宅 公志	広島修道大学・准教授	"Inward FDI Subsidy and Technology Adoption"	14
1/25	川越 吉孝	京都産業大学・准教授	"How Did Shocks on Gender Composition Affect Regional Economic Activities in Japan?: A Heckscher-Ohlin Approach"	11
	川口 薫喜	京都大学大学院経済学研究科 修士課程2年	"The Effects of R&D Subsidies for Joint R&D in a Vertically Related Industry"	
	小林 永典	京都大学大学院経済学研究科 修士課程2年	"An Empirical Study on the Effects of Exchange Rate Fluctuations on Japan's Exports to the United States"	

Seminar series

2023年度 経済学研究科公認セミナー開催一覧（セミナー名五十音順）

史的分析セミナー				セミナー計 140
日付	講師（敬称略）	所属・職位	演題	参加人数(人)
5/25	秋田 朝美	大阪大学大学院人文学研究科外国学専攻・招へい研究員	「1930年代後半におけるアメリカからの借款問題―棉麦借款から桐油借款―」	16
9/10	大庭 弘継	立教大学人工知能科学研究科・特任教授	"Putting the military in" History and Philosophy - "Upsetting Distinctions: Recent Cases in Japan"	7
	出口 康夫	京都大学大学院文学研究科・教授	"Putting the military in" History and Philosophy - "Beyond Civil-military Division: A New Model of Democratic Control of the Military"	
	David Edgerton	Professor of King's College London	"Putting the military in" History and Philosophy - "from Warfare State Britain and The Rise and Fall of the British Nation 13 Warfare State"	
9/11	坂出 健	京都大学大学院経済学研究科・教授	Thatcherism - "Commanding Heights: Rolls-Royce and National Enterprise Board, 1973-8"	13
	小関 隆	京都市大学人文科学研究所・教授	Thatcherism - "England in the 1960s"	
	David Edgerton	Professor of King's College London	Thatcherism - "from The Rise and Fall of the British Nation 18 Ruler's Revolt, 19 A Nation Lost"	
11/2	木越 義則	名古屋大学大学院経済学研究科	「交通革命は中国海運業のロジスティックをどう変えたのか? : 20世紀前半期中国海運業の季節的波動の分析」	25
11/18	服部 正紀	大阪大学・大学院生	「戦費調達と証券市場 The adventurers' Act 1642 による土地証書」	11
	樋上 恵美子	所属なし	「地域後継者養成のための少年少女の学校―実業補習学校」	
11/29	辺 成祐	東洋大学・准教授	「鉄鋼産業の技術移転研究：韓国ポスコの技術導入からインドネシア移転まで」	13
12/9	黒澤 隆文	京都大学・教授	「産業論の枠組みを考える―― The Oxford Handbook of Industry Dynamicsの経験から――」	27
	林 直樹	京都大学・博士後期課程学生	「京都金融市場における貸出競争と京都金利の成立」	
	前田 耕作	立命館大学・講師	「映画産業における流通戦略の重要性 ～TOHOシネマズの寡占進行に伴う興行成績の偏在～」	
1/23	岩島 史	京都大学経済学研究科・講師	「戦後農村における家電導入のポリティクス―洗濯機に注目して―」	14
2/28	久野 愛	東京大学	"Modern Smile: Affective Labor and Japanese Department Store Restaurants, 1900s-1930s"	14
	Adoración Álvaro Moya	CUNEF University	"Foreign direct investment in 20th century Spain. A Business History approach for theoretical development in international business"	
	Stephen Mihm	University of Georgia	"Vertical Disintegration: Small Firms, Standards, and the Making of the American Automotive Industry"	
中国経済セミナー				セミナー計 84
4/26	楊 潔	富山大学研究推進機構サステイナビリティ国際研究センター	"Renewable Energy or Thermal Efficiency Improvement? Assessing the Carbon Mitigation Effects in China"	10
5/24	岑 智偉	京都産業大学・教授	「歴史的技術変化と大分岐」	13
6/28	甲斐 成章	関西大学経済学部・教授	「中国の「国進」と混合所有制改革」	9
7/19	羅 欽鎮	東京経済大学経済学部・教授	「人民公社における労働投入に関する研究」	12
10/18	張 紅詠	独立行政法人経済産業研究所（RIETI）・上席研究員	"Political Visits and Firm Value: Evidence from Central Leaders' Local Tours in China"	11
11/22	尹 冠球	瀋陽農業大学・講師	"The synergy effect of agricultural dual-scale management on farmers' income evidence from rural China"	8
12/20	王 嘉陽	愛知学院大学経済学部・講師	「中国における電力部門低炭素化への道」	9
1/24	福本 智之	大阪経済大学経済学部・教授	「中国経済の中長期展望--それを左右する諸要素を踏まえ」	12

Seminar series

2023年度 経済学研究科公認セミナー開催一覧（セミナー名五十音順）

マクロ経済学セミナー				セミナー計 127
日付	講師（敬称略）	所属・職位	演題	参加人数(人)
4/14	John Stachurski	Australian National University	"Advances in dynamic programming: theory and applications"	15
5/25	Svetlana Pashchenko	University of Georgia	"Mortality-Regressivity and Pension Design" (with Youngsoo Jang and Ponpoje Porapakkarm)	9
6/7	Seunghoon Na	Purdue University	"Diagnostic Expectations and Open Economy Business Cycles," co-authored with Donghoon Yoo	9
6/22	星野 哲也	ITAM	"Rational Inattention and Endogenous Volatility: A Large Deviation Approach" (joint work with Takashi Ui)	11
7/4	Matteo Paradisi	Einaudi Institute of Economics and Finance (EIEF)	"Countries for Old Men: An Analysis of the Age Wage Gap"	5
10/6	Christopher Tonetti	Graduate School of Business, Stanford University	"Risk Markups" with Sebastian Di Tella and Cedomir Maglieri	8
10/27	松田 一茂	慶應義塾大学経済学部	"Production organization, task allocation, and wage inequality"	30
	加藤 明久	大阪大学大学院経済学研究科	"Optimal Progressive Income Taxation with Endogenous Marriage and Divorce Decisions"	
11/10	柴山 克行	School of Economics, University of Kent	"Intertemporal and Intratemporal Stability"	7
11/17	Oscar Pavlov	School of Business and Economics, University of Tasmania	"Superstar Firms: Equilibrium Instability and Cyclical Inequality" with Qazi Haque and Mark Weder	8
12/7	In Hwan Jo	National University of Singapore	"Firm Debt and Default over the Pandemic and Recovery (with Aubhik Khan, Tatsuro Senga, and Julia K.Thomas)"	5
1/25	高橋 悠太	一橋大学経済研究所	"An Experiment of Multi-Periods Beauty Contest Game"	4
1/31	Xavier Ragot	パリ政治学院 (Sciences-Po)	"Optimal Fiscal Policy With Heterogeneous Agents and Capital: Should We Increase or Decrease Public Debt and Capital Taxes?"	5
2/8	片山 宗親	早稲田大学 政治経済学術院 政治経済学部	"Nightless City: Impacts of Policymakers' Questions on Overtime Work of Government Officials"	5
3/28	寺本 和弘	一橋大学 経済学研究科	"Unequal Wage Cyclicity: Evidence, Theory, and Implications for Labor Market Volatility"	6

KAKENHI Adopter list

2024年度（令和6年度） 科研費採択者一覧

経済学研究科

参照）KAKENデータベース

研究者名	職位	研究種目	研究課題タイトル	領域番号	配分区分	研究分野 (審査区分)	配分	研究機関・年度
中林 純	教授	基盤研究(A)	談合など自律的協調に関する理論モデルの実証分析	24H00147	補助金	経済学、経営学およびその関連分野	47,450千円 (直接経費: 36,500千円、間接経費: 10,950千円) 2024年度: 13,000千円 (直接経費: 10,000千円、間接経費: 3,000千円)	京都大学 2024-04-01 – 2028-03-31
高野 久紀	准教授	基盤研究(B)	発展過程にある途上国の社会保障制度と産業政策に関する研究	24K00253	基金	経済政策関連	18,590千円 (直接経費: 14,300千円、間接経費: 4,290千円) 2026年度: 3,770千円 (直接経費: 2,900千円、間接経費: 870千円) 2025年度: 9,360千円 (直接経費: 7,200千円、間接経費: 2,160千円) 2024年度: 5,460千円 (直接経費: 4,200千円、間接経費: 1,260千円)	京都大学 2024-04-01 – 2027-03-31
矢野 剛	教授	基盤研究(C)	中国民営企業の上場がもたらす企業行動・アウトカムへの効果の実証研究	24K04835	基金	経済政策関連	4,680千円 (直接経費: 3,600千円、間接経費: 1,080千円) 2026年度: 1,170千円 (直接経費: 900千円、間接経費: 270千円) 2025年度: 1,300千円 (直接経費: 1,000千円、間接経費: 300千円) 2024年度: 2,210千円 (直接経費: 1,700千円、間接経費: 510千円)	京都大学 2024-04-01 – 2027-03-31
柳 貴英	准教授	基盤研究(C)	波及効果を考慮した統計的因果推論	24K04817	基金	経済統計関連	4,550千円 (直接経費: 3,500千円、間接経費: 1,050千円) 2027年度: 650千円 (直接経費: 500千円、間接経費: 150千円) 2026年度: 1,040千円 (直接経費: 800千円、間接経費: 240千円) 2025年度: 1,170千円 (直接経費: 900千円、間接経費: 270千円) 2024年度: 1,690千円 (直接経費: 1,300千円、間接経費: 390千円)	京都大学 2024-04-01 – 2028-03-31
長谷川 誠	准教授	基盤研究(C)	多国籍企業への課税に関する諸課題の解明：利益移転、利益還流、海外直接投資を中心に	24K04910	基金	公共経済および労働経済関連	4,680千円 (直接経費: 3,600千円、間接経費: 1,080千円) 2026年度: 1,430千円 (直接経費: 1,100千円、間接経費: 330千円) 2025年度: 1,430千円 (直接経費: 1,100千円、間接経費: 330千円) 2024年度: 1,820千円 (直接経費: 1,400千円、間接経費: 420千円)	京都大学 2024-04-01 – 2027-03-31
Ivings Steven	准教授	基盤研究(C)	A Business History of Treaty Port Firms and Shipping in Japan	24K04983	基金	経済史関連	2,860千円 (直接経費: 2,200千円、間接経費: 660千円) 2026年度: 910千円 (直接経費: 700千円、間接経費: 210千円) 2025年度: 910千円 (直接経費: 700千円、間接経費: 210千円) 2024年度: 1,040千円 (直接経費: 800千円、間接経費: 240千円)	京都大学 2024-04-01 – 2027-03-31
岩瀬 祐介	講師	若手研究	マッチング理論の社会実装に向けたインセンティブ構造の解明	24K16331	基金	理論経済学関連	4,420千円 (直接経費: 3,400千円、間接経費: 1,020千円) 2026年度: 1,560千円 (直接経費: 1,200千円、間接経費: 360千円) 2025年度: 1,300千円 (直接経費: 1,000千円、間接経費: 300千円) 2024年度: 1,560千円 (直接経費: 1,200千円、間接経費: 360千円)	京都大学 2024-04-01 – 2027-03-31
数村 友也	講師	若手研究	所得効果のある環境におけるオークションデザイン	24K16332	基金	理論経済学関連	4,550千円 (直接経費: 3,500千円、間接経費: 1,050千円) 2028年度: 520千円 (直接経費: 400千円、間接経費: 120千円) 2027年度: 910千円 (直接経費: 700千円、間接経費: 210千円) 2026年度: 1,300千円 (直接経費: 1,000千円、間接経費: 300千円) 2025年度: 780千円 (直接経費: 600千円、間接経費: 180千円) 2024年度: 1,040千円 (直接経費: 800千円、間接経費: 240千円)	京都大学 2024-04-01 – 2029-03-31
中林 純	教授	挑戦的研究(開拓)	ソフトな執行手段による違反行為の防止効果の実証分析	24K21183	基金	経済学、経営学およびその関連分野	25,480千円 (直接経費: 19,600千円、間接経費: 5,880千円) 2027年度: 6,630千円 (直接経費: 5,100千円、間接経費: 1,530千円) 2026年度: 6,500千円 (直接経費: 5,000千円、間接経費: 1,500千円) 2025年度: 5,590千円 (直接経費: 4,300千円、間接経費: 1,290千円) 2024年度: 6,760千円 (直接経費: 5,200千円、間接経費: 1,560千円)	京都大学 2024-06-28 – 2028-03-31

経営管理研究部

該当なし

KAKENHI Adoption status

2024年度（令和6年度）科研費採択状況

経済学研究科 科研費応募・内定・決定データ（H25-R6）

■新規・応募内定

総合計			
	応募件数 (A)	内定件数 (B)	採択率 (B / A)
H25	17	9	52.9%
H26	18	10	55.6%
H27	27	13	48.1%
H28	22	11	50.0%
H29	23	11	47.8%
H30	26	10	38.5%
R1	25	9	36.0%
R2	23	14	60.9%
R3	10	6	60.0%
R4	15	10	66.7%
R5	15	10	66.7%
R6	13	8	61.5%

※R6.経営管理大学院（経済教員協参加）の応募2、内定0を含めると 8/15（53.3%）

☆挑戦的研究（開拓）は結果待ちのため、内定・採択率に含まず

	特別推進研究			新学術領域研究(研究領域提案型) R2より学術変革領域研究(A)に区分継続			学術変革領域研究(B) R2より新設		
				学術変革領域研究(A)					
	応募件数 (A)	内定件数 (B)	採択率 (B / A)	応募件数 (A)	内定件数 (B)	採択率 (B / A)	応募件数 (A)	内定件数 (B)	採択率 (B / A)
H25									
H26									
H27									
H28									
H29									
H30									
R1									
R2									
R3				1	0	0.0%			
R4				1	0	0.0%			
R5									
R6									

※R6経営管理大学院（経済教員協参加）⇒

	基礎研究（S）			基礎研究（A）			基礎研究(B) 「特設分野」は7月下旬交付内を含む H27新規採択より一部基金を廃止し補助金 （ただし、特設分野は基金）			基礎研究（C） 「特設分野」は7月下旬交付内を含む 10月の追加採択（一般）を含む			挑戦的研究 H29より挑戦的研究採択研究を廃止し、 挑戦的研究（萌芽） 挑戦的研究（開拓）					
													挑戦的研究（萌芽） (6月下旬交付内定)			挑戦的研究（開拓） (6月下旬交付内定)		
	応募件数 (A)	内定件数 (B)	採択率 (B/A)	応募件数 (A)	内定件数 (B)	採択率 (B/A)	応募件数 (A)	内定件数 (B)	採択率（B /A）	応募件数 (A)	内定件数 (B)	採択率（B /A）	応募件数 (A)	内定件数 (B)	採択率 (B/A)	応募件数 (A)	内定件数 (B)	採択率 (B/A)
H25							5	2	40.0%	7	5	71.4%	1	1	100.0%			
H26							8	3	37.5%	5	5	100.0%	1	0	0.0%			
H27				1	1	100.0%	6	1	16.7%	7	5	71.4%	3	1	33.3%			
H28							6	2	33.3%	11	6	54.5%	3	1	33.3%			
H29				1	0	0.0%	7	1	14.3%	10	7	70.0%	2	0	0.0%			
H30	1	0	0.0%	1	0	0.0%	3	0	0.0%	11	8	72.7%	3	1	33.3%			
R1	1	0	0.0%	1	0	0.0%	6	4	66.7%	8	2	25.0%	2	1	50.0%			
R2	1	0	0.0%	1	0	0.0%	3	1	33.3%	9	8	88.8%	1	0	0.0%			
R3				2	0	0.0%	1	1	100.0%	2	1	50.0%	1	1	100.0%			
R4				3	1	33.3%	3	2	66.7%	2	2	100.0%	0	0	0.0%			
R5				2	1	50.0%	3	2	66.7%	4	4	100.0%	1	0	0.0%			
R6				2	1	50.0%	1	1	100.0%	5	4	80.0%			0.0%	1	1	100.0%

※R6経営管理大学院（経済教員協参加）⇒

※ 応募1、内定0を含めると1/3（33.3%）

※ 応募0、内定0を含めると1/1（100.0%）

※ 応募0、内定0を含めると4/5（80.0%）

※ 応募0、内定0を含めると0/0（0.0%）

※ 応募1、内定0を含めると0/1（0.0%）



参照：【H25-H27】科研費応募・内定・決定データ（教職員ポータル）
2016.6改訂版確認、変更なし

- 【H28】20160408（経済）科研費申請・採択状況（URA室）
- 【H28】科研申請採択者データ（URA室）
- 【H29】20170601 KAKEN_GSEconomics（学術研究支援室）
- 20170908（改定）H29科研費内定データ（URA室）
- 経営管理大学院データ（外部資金掛）
- 【H30】2018.4 科研費応募採択状況 経済・経営管理大学院データ（外部資金掛）
- 公共政策大学院・国際高等教育院データ（外部資金掛）
- 地球環境学量データ(理系 共通・補助金掛)
- 20180704（改定）科研費採択状況 経済・経営管理大学院データ（外部資金掛）
- 【R1】科研費応募・内定 経済・経営管理大学院データ（外部資金掛）
- 20190705（改訂）科研費内定一覧（KAKENデータベース）
- 【R2】20200323科研費応募（外部資金掛）
- R3_科研費応募・採択状況（経済・経営）（外部資金掛）
- ※4_科研費応募採択状況（経済・経営）（外部資金掛）
- 2 0 2 3 応募データ 経済学研究科・経営管理OUBODATA、 2 0 2 3 年度内定データ 経済学研
等R5内定（外部資金掛）
- 経済・経営2024応募データ，経済・経営 2024内定データ（外部資金掛）

	若手研究 (A) H27新規採択より一部基金を廃止し補助金 H30より若手研究(A)の新規公募は停止。 【基礎研究】種目群等に移行			若手研究 (B) H30より「若手研究」と名称変更			国際共同研究強化(H27年度新設)						研究活動スタート支援 (8月下旬交付内定) R1より基金化			研究成果公開促進費(学術図書)			奨励研究		
				若手研究			H30より 国際共同研究強化 (A)														
							R5より 国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化)			R5より 国際共同研究加速基金 (海外連携研究)											
	応募件数 (A)	内定件数 (B)	採択率 (B/A)	応募件数 (A)	内定件数 (B)	採択率 (B/A)	応募件数 (A)	内定件数 (B)	採択率 (B /A)	応募件数 (A)	内定件数 (B)	採択率 (B/A)	応募件数 (A)	内定件数 (B)	採択率 (B/A)	応募件数 (A)	内定件数 (B)	採択率 (B/A)	応募件数 (A)	内定件数 (B)	採択率 (B/A)
H25				2	1	50.0%							1	0	0.0%				1	0	0.0%
H26				4	2	50.0%															
H27				6	3	50.0%	1	1	100.0%				2	1	50.0%	1	0	0.0%			
H28				2	2	100.0%															
H29	1	1	100.0%	2	2	100.0%															
H30				7	1	14.2%															
R1				6	2	33.3%										1	0	0.0%			
R2				8	5	62.5%															
R3				3	3	100.0%															
R4				6	5	83.3%							2	2	100.0%						
R5				3	2	66.7%				1	0	0.0%	1	1	100.0%						
R6				2	2	100.0%															

※R6経営管理大学院（経済教員部参加）⇒ ※ 応募0、内定0を含めると2/3（66.7%） ※ 応募0、内定0を含めると0/1（0.0%） ※ 応募0、内定0を含めると1/1（100.0%）

Web of Science

経済学研究科教書誌データ（2023年）

教員名	役職	本務部局	文献タイトル	著者名一覧	文献タイプ	出版物名	巻	号	開始 ページ	終了 ページ
依田 高典	教授	経済学 研究科	Selection on Welfare Gains: Experimental Evidence from Electricity Plan Choice	Ito, K; Ida, T; Tanaka, M	Article	AMERICAN ECONOMIC REVIEW	113	11	*	*
草野 真樹	教授	経済学 研究科	Does recognition versus disclosure of pension liabilities affect credit ratings? Evidence from Japan	Kusano, Masaki	Article	JOURNAL OF INTERNATIONAL ACCOUNTING AUDITING AND TAXATION	50	*	*	*
佐々木 啓明	教授	経済学 研究科	Long-run consequences of population decline in an economy with exhaustible resources	Mino, Kazuo; Sasaki, Hiroaki	Article	ECONOMIC MODELLING	121	*	*	*
神事 直人	教授	経済学 研究科	Why do people oppose foreign acquisitions? Evidence from Japanese individual-level data	Ito, Banri; Tanaka, Ayumu; Jinji, Naoto	Article	JAPAN AND THE WORLD ECONOMY	66	*	*	*
			The impact of policy uncertainty on foreign direct investment: Micro-evidence from Japan's international investment agreements	Inada, Mitsuo; Jinji, Naoto	Article	REVIEW OF INTERNATIONAL ECONOMICS	*	*	*	*
諸富 徹	教授	経済学 研究科	Heterogeneous Effects of Public Procurement on Environmental Innovation, Evidence from European Companies	Yu, Chunling; Morotomi, Toru; Wang, Qunwei	Article	SUSTAINABILITY	15	19	*	*
			Impact of Carbon Neutrality on the Economy and Industry Assuming Japan's Achievement of 2030 Power Mix Plan: A 2050 Perspective Based on the E3ME Macro-Econometric Model	Kato, Shinya; Lee, Soochaeol; He, Yanmin; Yoshioka, Tsutomu; Morotomi, Toru; Chewpreecha, Unnada	Article	ENERGIES	16	18	*	*
			Policy Design for Diffusing Hydrogen Economy and Its Impact on the Japanese Economy for Carbon Neutrality by 2050: Analysis Using the E3ME-FTT Model	Han, Xu; Vercoulen, Pim; Lee, Soochaeol; Lam, Aileen; Kato, Shinya; Morotomi, Toru; Koukouzas, Nikolaos	Article	ENERGIES	16	21	*	*
安井 大真	教授	経済学 研究科	Fertility differential, public policy, and development	Kimura, Masako; Yasui, Daishin	Article	ECONOMICS LETTERS	226	*	*	*
山田 憲	教授	経済学 研究科	Heterogeneous Impact of the Minimum Wage: Implications for Changes in Between- and Within-Group Inequality	Oka, Tatsushi; Yamada, Ken	Article	JOURNAL OF HUMAN RESOURCES	58	1	335	362
長谷川誠	准教授	経済学 研究科	Territorial Tax Reform and Profit Shifting by US and Japanese Multinationals	Hasegawa, Makoto	Article	NATIONAL TAX JOURNAL	76	4	771	804
柳 貴英	准教授	経済学 研究科	Causal Inference with Noncompliance and Unknown Interference	Hoshino, Tadao; Yanagi, Takahide	Article	JOURNAL OF THE AMERICAN STATISTICAL ASSOCIATION	*	*	*	*
岩崎 康平	講師	経済学 研究科	General equilibrium with multiple liquid assets	Altermatt, Lukas; Iwasaki, Kohei; Wright, Randall	Article	REVIEW OF ECONOMIC DYNAMICS	51	*	267	291

Web of Science

経済学研究科教書誌データ（2023年）

教員名	役職	本務部局	文献タイトル	著者名一覧	文献タイプ	出版物名	巻	号	開始 ページ	終了 ページ
羽村 靖之	講師	経済学 研究科	Bayesian shrinkage estimation for stratified count data	Hamura, Yasuyuki	Article	JAPANESE JOURNAL OF STATISTICS AND DATA SCIENCE	*	*	*	*
			Locally adaptive Bayesian isotonic regression using half shrinkage priors	Okano, Ryo; Hamura, Yasuyuki; Irie, Kaoru; Sugasawa, Shonosuke	Article	SCANDINAVIAN JOURNAL OF STATISTICS	51	1	109	141
			Gibbs Sampler for Matrix Generalized Inverse Gaussian Distributions	Hamura, Yasuyuki; Irie, Kaoru; Sugasawa, Shonosuke	Article	JOURNAL OF COMPUTATIONAL AND GRAPHICAL STATISTICS	*	*	*	*
			Short proof of posterior robustness: An illustration of basic ideas in a simple case	Hamura, Yasuyuki	Article	COMMUNICATIONS IN STATISTICS-THEORY AND METHODS	*	*	*	*
			Improved methods to construct prediction intervals for network meta-analysis	Noma, Hisashi; Hamura, Yasuyuki; Sugasawa, Shonosuke; Furukawa, Toshi A.	Article	RESEARCH SYNTHESIS METHODS	*	*	*	*
			Kenward-Roger-type corrections for inference methods of network meta-analysis and meta-regression	Noma, Hisashi; Hamura, Yasuyuki; Goshio, Masahiko; Furukawa, Toshi A.	Article	RESEARCH SYNTHESIS METHODS	14	5	*	*
Yong, Yen Nie	特定講師	国際連携グローバル経済・地域創造専攻	From craft to industry and back: transnational efforts in reconstructing tin's social meaning to the retail consumer (1950s-1960s)	Yong, Yen Nie	Article	JOURNAL OF HISTORICAL RESEARCH IN MARKETING	*	*	*	*
竹内 憲司	教授	地球環境学 堂	The effects of regional goal setting on household waste	Ishimura, Yuichi; Shinkuma, Takayoshi; Takeuchi, Kenji; Hosoda, Eiji	Article	ECOLOGICAL ECONOMICS	215	*	*	*
			Do municipal mergers reduce the cost of waste management? Evidence from Japan	Li, Jinsong; Takeuchi, Kenji	Article	REGIONAL SCIENCE AND URBAN ECONOMICS	103	*	*	*
			Estimating the value of energy storage: The role of pumped hydropower in the electricity supply network	Yagi, Chihiro; Takeuchi, Kenji	Article	JAPAN AND THE WORLD ECONOMY	68	*	*	*
			Estimating the potential impact of climate change on energy crop productivity in Thailand: an empirical study of sugarcane, cassava, and oil palm using panel data analysis	Jatuporn, Chalermpon; Takeuchi, Kenji	Article	ENVIRONMENT DEVELOPMENT AND SUSTAINABILITY	*	*	*	*
			The recycled content of plastic products: estimating the impact of a recycling law on the input mix	Kumamaru, Hirotaka; Takeuchi, Kenji	Article	ENVIRONMENTAL ECONOMICS AND POLICY STUDIES	25	3	355	376
			Import ban and clean air: estimating the effect of China's waste import ban on ozone pollution	Li, Jinsong; Takeuchi, Kenji	Article	ENVIRONMENTAL ECONOMICS AND POLICY STUDIES	25	4	471	492
COLPAN, Asl	教授	経営管理 大学院	Owners' nonfinancial objectives and the diversification and internationalization of business groups	Cuervo-Cazurra, Alvaro; Colpan, Asli M.	Article	CORPORATE GOVERNANCE-AN INTERNATIONAL REVIEW	31	6	*	*
安達 貴教	教授	経理管理 大学院	Cournot platform competition with mixed-homing*	Tremblay, Mark J.; Adachi, Takanori; Sato, Susumu	Article	INTERNATIONAL JOURNAL OF INDUSTRIAL ORGANIZATION	91	*	*	*
			Platform Oligopoly with Endogenous Homing: Implications for Mergers and Free Entry	Adachi, Takanori; Sato, Susumu; Tremblay, Mark J.	Article	JOURNAL OF INDUSTRIAL ECONOMICS	71	4	1203	1232

Web of Science

経済学研究科教書誌データ（2023年）

関口 倫紀	教授	経理管理 大学院	Approaching or avoiding? Mechanisms of host-country language proficiency in affecting virtual work adaptivity during COVID-19	Liu, Ting; Shen, Ya Xi; Zhao, Sijia; Sekiguchi, Tomoki	Article	INTERNATIONAL JOURNAL OF HUMAN RESOURCE MANAGEMENT	34	21	*	*
			Different Feathers Embedding Together: Integrating Diversity and Organizational Embeddedness	Ghosh, Debjani; Gonzalez, Jorge A. A.; Sekiguchi, Tomoki	Article	JOURNAL OF MANAGEMENT STUDIES	*	*	*	*
			Applications of agent-based modeling and simulation in organization management: a quarter-century review through bibliometric mapping (1998-2022)	Wu, Jiunyan; Ohya, Takaki; Sekiguchi, Tomoki	Review	COMPUTATIONAL AND MATHEMATICAL ORGANIZATION THEORY	*	*	*	*
			The interaction of the five-factor personality traits and job embeddedness in explaining voluntary turnover: A necessary-condition perspective	Peltokorpi, Vesa; Sekiguchi, Tomoki	Article	EUROPEAN JOURNAL OF WORK AND ORGANIZATIONAL PSYCHOLOGY	32	5	688	701
			Cognitive flexibility and business model innovation: mediating roles of active search and bricolage	Lyu, Siyao; Zhao, Wenhong; Sekiguchi, Tomoki; Lin, Jingjing	Article	TECHNOLOGY ANALYSIS & STRATEGIC MANAGEMENT	*	*	*	*
			Editorial: Language and culture in organization and consumer behaviors	Li, Xi; Sekiguchi, Tomoki; Yi, Kui; Zhang, Qingyu; Peng, Luluo; Zhang, Ligang	Editorial Material	FRONTIERS IN PSYCHOLOGY	14	*	*	*
山内 裕	教授	経理管理 大学院	Ethics, Tradition and Temporality in Craft Work: The Case of Japanese Mingei	Holt, Robin; Yamauchi, Yutaka	Article	JOURNAL OF BUSINESS ETHICS	188	4	827	843

Discussion Papers

ディスカッションペーパー(2023年度)

ディスカッション・ペーパーは、2015年9月まで、経済学研究科附属プロジェクトセンターの成果の一部として、発行してまいりました。
今後は、経済学研究科のワーキングペーパーとして、ディスカッション・ペーパーの名称を継承しながら発行してまいります。

E-15-006 (J-15-001) まで : 経済学研究科附属プロジェクトセンター 発行

E-15-007 (J-15-002) 以降 : 経済学研究科 発行

English

- | | |
|-----------------|--|
| E-20-004
-V2 | Makoto Hasegawa and Michi Kakebayashi
“The Effect of Foreign Dividend Exemption on Profit Repatriation through Dividends, Royalties, and Interest: Evidence from Japan “
Sachiko Hata and Yasuo Sugiyama |
| E-23-001 | “Invisible Defense Mechanism: Qualitative Research on Strategy of Entrepreneurs Swimming with Sharks “ |
| E-23-002 | Ichiroh Daitoh and Hiroaki Sasaki
“Ramsey-Cass-Koopmans Model with Declining Population “ |
| E-23-003 | Se-il Mun, Lei Qin, Yue Zhou
“The Effects of Mass Transit System on Urban Population Distribution:Evidence from Wuhan“ |
| E-23-004 | Jiayin QIN, Tomoki SEKIGUCHI
“Career agency and person-environment fit: A study on female globally mobile employees in Japan “ |
| E-23-005 | Takeshi SAKADE
“Variety of Cyber Democracy from the Asian View of Human Being “ |
| E-23-006 | Xinyi Cao and Norio Sawabe
“Does excess employment affect the relative performance evaluation usage in CEO turnover?Evidence from Chinese listed firms “ |
| E-23-007 | Masahiro Kawasaki, Ryosuke Sakai, Tomoya Kazumura
“Sequential dictatorship rules in multi-unit object assignment problems with money “ |
| E-23-008 | Soyoka Okamura, Yotaro Ueno, Toma Yamagoshi, Hisaki Kono
“Revisiting National Institutions and Subnational Development in Africa with New Nighttime Light Data “ |
| E-23-009 | Hisaki Kono, Minhaj Mahmud, Yasuyuki Sawada, Nahoko Mitsuyama, Tomomi Tanaka
“Nudging by Beauty:Improving Women’s Health Decisions and Well-Being in the Field “ |

Japanese

該当なし

京都大学大学院経済学研究科
附属プロジェクトセンター
〒606-8501 京都市左京区吉田本町
法経済学部東館 305号
TEL.075-753-3443
2025年 1 月発行

